

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設 (教育文化施設：土中西地区集会施設) 整備事業						
補助事業者名	西都市長						
実施場所	宮崎県西都市大字鹿野田5377番地3						
補助事業の成果の目標	<p>土中西地区集会施設は、住民の集会等の場として本地区が整備したが、建築後30年以上が経過し、雨漏りがするなど老朽化が進んでおり、また和式便所、各所に段差があるなど高齢者には利用難い状況であった。</p> <p>同地区の生活環境を整備するため、地域住民の集会・イベント開催また地域コミュニティの形成の場として快適に利用でき、バリアフリー化により高齢者でも安全な集会施設として建替える。</p>						
補助事業の内容	土中西地区集会施設の建設 木造平家建 A=69.82m ²						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度	年度	年度	年度	年度	計
	事業費	円 13,984,920	円	円	円	円	円 13,984,920
	交付金額	10,000,000					10,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>地域住民の集会・イベント開催また地域コミュニティの形成の場として快適に利用でき、バリアフリー化により高齢者でも安全な集会施設が整った。</p> <p>地区住民へアンケート調査を実施したところ、「安全で快適に利用できる。」との意見が多く寄せられている。</p> <p>集会施設のスロープに防衛省調整交付金助成事業で整備した旨記載したプレートを設置し、利用者に周知を図っている。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事 業 評 價 書

補 助 事 業 名	新田原飛行場関連公用施設 (教育文化施設：右松村地区集会施設) 整備事業					
補 助 事 業 者 名	西都市長					
実 施 場 所	宮崎県西都市右松4丁目80番					
補助事業の成果の目標	右松地区集会施設は、住民の集会等の場として本地区が整備したが、建築後30年以上が経過し、雨漏りがするなど老朽化が進んでおり、また和式便所、各所に段差があるなど高齢者には利用難い状況であった。 同地区の生活環境を整備するため、地域住民の集会・イベント開催また地域コミュニティの形成の場として快適に利用でき、バリアフリー化により高齢者でも安全な集会施設として建替える。					
補 助 事 業 の 内 容	右松村地区集会施設の建設 木造平家建 A=127.68m ²					
補助事業の始期及び終期	平成26年度					
事業費 及び 交付金額		26年度	年度	年度	年度	計
	事業費	円 20,632,360	円	円	円	円 20,632,360
	交付金額	16,000,000				16,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	地域住民の集会・イベント開催また地域コミュニティの形成の場として快適に利用でき、バリアフリー化により高齢者でも安全な集会施設が整った。 地区住民へアンケート調査を実施したところ、「安全で快適に利用できる。」との意見が多く寄せられている。 集会施設のスロープに防衛省調整交付金助成事業で整備した旨記載したプレートを設置し、利用者に周知を図っている。					
事業の改善措置及び今後の対応	無					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	新田原飛行場関連公共用施設 (交通施設：向之城高屋1号線) 整備事業						
補 助 事 業 者 名	西都市長						
実 施 場 所	宮崎県西都市大字鹿野田字高屋外						
補助事業の成果の目標	<p>向之城高屋1号線は、市南部の大字鹿野田字高屋と字久保境を通り主要地方道荒武新富線とを結ぶ市道である。地区住民の重要な生活道として利用されているが、未改良で幅員が狭く、車両の離合も困難な部分があり通行に支障を来たしている。</p> <p>このことから、集落内の未改良部である延長220mにおいて幅員5.0mとする市道改良拡幅工事を実施することにより、交通の円滑化と住民の利便性の向上を図るとともに緊急車両の通行を容易にすることを目標とする。</p>						
補 助 事 業 の 内 容	道路改良 延長L=223.0m 幅員W=4.0m						
補助事業の始期及び終期	平成25年度～平成26年度						
事業費 及び 交付金額		25年度	26年度				計
	事業費	円 2,910,000	円 36,384,000	円	円 39,294,000	円	円
	交付金額	2,500,000	34,800,000				37,300,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>集落内の未改良部を改良拡幅することにより、交通の円滑化と住民の利便性が向上するとともに、緊急車両の通行も容易になった。</p> <p>工事完了後、アンケート調査を実施したところ、地元住民から、「交通の円滑化が図れた。」という声、また地元消防団から「緊急時車両の走行が容易になった。」との回答が得られており、補助事業の成果は果たせた。</p> <p>工事に先立ち地元説明会で、防衛省補助調整交付金事業により実施することを説明、また工事中立看板に同様の記載をし周辺住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。